

# 善仁寺 新聞

やぐら新聞

発行日 毎月11月24日

## 創刊号

電話

ファックス 03(3811)4803

メール

ホームページ http://zenninji.web.fc2.com

発行人 青山 满  
発行所 東京都文京区小石川4丁目13番19号  
真宗大谷派 石川山 善仁寺

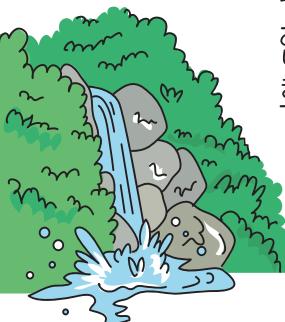
はじめまして。今年は暑い夏でしたね~。皆様 夏バテはしごも

せんか~。  
さて、こよこの間に「善仁寺報」が  
できました。

発行人がとても筆不精どころの問題  
がありお手のじで、長く続ければれる  
ものがこの簡単な形式での  
創刊となりました。

毎週で作ってこむ「善仁寺報」こと  
思ひこねた。「龍虎」の感想、お便り  
をね待ちにしておつねす。

善仁寺報では皆様のお便り  
をお待ちしておます。宛先は  
発行人、送り先は発行人に同じ  
です。  
まだ「龍虎」をねこまつた  
「お城輪」をねこまつて  
ねこまつておけわせト  
ねこまつて。



## 石川山 善仁寺報

今回が最初です、善仁寺の

おもてなしの紙になります。

善仁寺の宗祖は浄土真宗です。

宗派は真宗大谷派です。

本山は京都にある真宗本廟

(東本願寺)です。

宗祖は親鸞聖人です。

創建はのの年(平安時代)と  
伝わっています。

以前は真言宗(宗派は不明)  
で、福寿院(ゆふじいん)は廃住院)

ところへ如拙の和尚でした。

伝説では親鸞聖人が東国を

巡歴した際に、御寺にも立ち

よつになられ、極楽水をまつ

立つたところの奇瑞と親鸞聖人

の誓徳に感動した當時の住職、

親鸞徵が改宗して浄土真宗

になり、お寺の名前を善仁寺  
と変えたといわれています。

太平洋戦争中、東京大空襲

による本堂、庫裏など全て

焼けてしましました。しかし

、多くの門徒の支援によ

りまつて、数十年を費やして

現在の状況となつました。

墓地にある大銀杏は樹齢が

750年と推定されています。



連絡先の変更は  
お寺までお知り  
せください。

現在、当山に所属して

おひれまわい門徒様の  
中で、数十名の方につき  
まして、重要な郵便物  
などがないないなど、  
連絡がつかない状況です。

長期間(1年以上)にわたって  
お困りの方は、「法事の予約  
はお早めに」

「法事の予約  
はお早めに」

お困りの方は、「法事の予約  
はお早めに」

の上、新しい連絡先をお知りせ  
るかね。

年次法要など「法事の予約  
は随时受け付けております。

# 特集

## 報恩講って何?

毎年、十月十八日（例年）に開催される「報恩講」。おこつて行われる、報恩講とは一体何でしようか。

今朝では真宗門徒（しんしゅうもんとく）にとっても大目にされてきた法要、「報恩講」につづいての紹介をさせて頂きます。

報恩講とは、浄土真宗の宗祖親鸞聖人の命日の十一月二十八日におこつて、念仏の教えを伝えて下さった親鸞聖人に感謝をし、教えに報いる気持ちを新たにする大切な法要です。

報恩講の始まりは親鸞聖人の曾孫（ひ孫）にあたる本願寺第三世の覚如上人が親鸞聖人の三十三回忌において、「報恩講私記（せきじ）」を撰述（せんじゆ）したのが始まりで

あります。

なぜ、当山の報恩講が十一月二十八日でないかと云ふと、伝統的に末寺におこつては本山の報恩講と口程を

すりして執つて行いました。その目的は基本的に名寺院の僧侶が本山の報恩講に出仕できるようにするため、といわれています。このよつな末寺の報恩講を「お取越」「御引上」（まつじ）（または、「マインジャウ」とよびます。

（または、「マインジャウ」とよびます。

## 編集後記



初めての寺報作りとして、何をどう書いていいのやう分からず、苦戦しました。ただ、人が書いたものを配るのではなく、自分の言葉で伝えていければ、と思い発刊してみました。「寺報のよつなもん」ではあります、なんとか出来上がりました。

まだ若干名の空きがあります。ご参加を希望される方は善仁寺までお申し込み下さい。

期日

平成23年10月20日(金)～21日(土)

日程予定

1日 東本願寺(京都)

2日 比叡山、平等院、万福寺

3日 龍安寺、二条城、親鸞展

(日程は変更となる場合があります。)

費用 お一人様 75,000円

申し込み締切 平成23年の10月10日

## 善仁寺からのお知らせ

来春、宗祖親鸞聖人の七百五十回忌法要を縁として、東京三組(善仁寺)が所属してつる組。

全十一ヶ寺)では、住職、門徒、総勢200名が本山へお参りします。

善仁寺での名までが参加できます。

まだ若干名の空きがあります。ご参加を希望される方は善仁寺までお申し込み下さい。

期日

平成23年10月20日(金)～21日(土)

日程予定

1日 東本願寺(京都)

2日 比叡山、平等院、万福寺

3日 龍安寺、二条城、親鸞展

(日程は変更となる場合があります。)

報恩講に向けた寺におつまつた人々は夜を徹して、各自の信仰について

どのように教えに向むかひつてかといふことを話しました。

それには親鸞聖人によつて伝わる

教えをどう受け取つて

しくか、ところへ真鏡（まきょう）さと真鑑（まげん）をとらわれてつります。このよつな末寺の報恩講を「お取越」「御引上」

（または、「マインジャウ」とよびます。

（または、「マインジャウ」とよびます。